

粉ミルク、ベビーフード……一刻も早く届けたい

福山北RC 田中 宏



フェイスブック上で「HELP」の文字が目に飛び込んでくる。「新生児用の粉ミルクが底をつく…ベビーフードが買えない…」。4月14日に起こった熊本地震のことである。

翌15日、当クラブの例会時に会員同士の「困っている方々に、今、必要とされている支援物資を送れないだろうか。そのことが一番皆さんの助かることなのではないだろうか」と本気で心配する会話があちこちで聞かれた。

大手の宅配業者は熊本方面への配達の受け付けすらし

ていない状況で、「なおさら物資を届けたい! じっとしてはいられない」。そんな中、18日、当クラブ会員が自社で使っているトラックを貸してくれることになり、これで運送手段ができた。

届けたい……ただそれだけのこと。今すぐにでも……。私が所属する奉仕プロジェクト委員会で相談したら、即刻、会長に話が伝わり「必要とされているタイミングで、支援先と求められている物資がわかっているのなら、即刻GOしてください!」と鶴の一声でプロジェクトが動き出し、流れは大きく強くなつた。

19日、一日中市内を走り回り、支援物資を買い求めた。そうした動きを察知したのであろうか、企業か

ら現金の振り込みや大量の商品提供の申し出があった。乗車したタクシーの運転手の方も、車中の私の電話のやり取りを聞き、事情がわかったのか、突然、「少しですが使ってください!」と支援金を手渡してくださった。支援物資を購入した店舗の女性店員の方は「個人でさせてください!」と2ケースの水を託してくださった。企業や個人、他クラブ会員からも支援金や水、米、オムツが届いた。クラブの思いが人から人へと伝わっていく。福山北ロータリークラブ（RC）に所属していて良かった。



いつか、物流も再開し、支援物資も現地での供給も安定するであろう…。しかし、今まさに、被災地で足りないものを求めて声を上げている人の存在を知りながら、何もせずに手をこまねいていてよいのであろうか。その声に会長以下、福山北RCは俊敏に行動した。

大きな流れとなったこの支援活動は、わずか2日間ではあったが、準備できた支援物資は4tトラック約1台分となったのである。19日午後7時、たくさんの方々からの善意を満載したトラックは、会員に見送られ、福山の地を出発した。

20日午前0時30分、九州自動車道植木インターを出て熊本市へ向かう。国道3号線から市内へ入るにつれブルーシートが屋根にかかった家屋、割れたガラスをビニールでカバーし営業を続けるコンビニが目に飛び込んできた。一見、普通に見えている景色の中に被災家屋や店舗があった。

熊本市内から届け先の嘉島町へ。市内から続く道路は所々隆起し、橋に架かる部分は30cmほどの段差があり、非常に危険な状態であるにもかかわらず、カラーコーンが置いてあるだけ。進むにつれ倒壊家屋の数が増えてくる。コンビニというコンビニは、全てガラス破損を警戒して、ロールスクリーンを下まで降ろしているので町が暗い。不安な中、現地に無事到着し、朝までコンビニの駐車場で仮眠。

夜が明けて、待っていてくれた現地の社長と若いスタッフの皆さんとともに荷降ろしを行ったが、社長は泣きながらの荷降ろしだった。「田中さん本当にありがとうございます。ありがとうございます」と何度も何度もお礼の言葉をいただいた。

届けた物資は、指定避難所となっていないために物資が届かない近隣の3か所の避難所へ、弊社同業者の仲



被災者の皆さんに お見舞い申し上げます

4月に起こった熊本地震でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆さんにお見舞いを申し上げます。

この度の地震の支援に関して、第2720地区（熊本県・大分県）では、「ロータリー熊本地震総合支援室」を設置し、下記、送金口座を開設しています。

大分銀行（普通）わさだ支店

口座番号 7525277

口座名 熊本地震総合支援室

支援金は主に、地元のロータリアンによる被災地での支援活動ならびに今後の復興支援の費用に充てられます。

また、既に現地に入り、緊急支援活動を実施されたクラブもあります。

『ロータリーの友』では、熊本地震関連の情報を発信していきます。必要な支援についての情報、支援状況に関する情報などをご提供ください。

被災された皆さんに役立つ支援ができるよう、誌面を通して情報を共有できますよう、重ねてお願い申し上げます。

間と手分けして配布した。

一番気になっていた、新生児用の粉ミルク、ベビーフードも直接手渡しで届けることができたとの報告を聞き、今回の「素早いピンポイントの支援」は、被災した多くの方々に善意の絆がつながった、大変有意義な支援活動であったと実感している。

（第2710地区 広島県）